

J A 全農 ちば 営農情報集 11月号



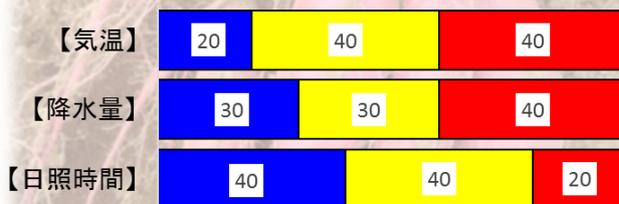
今月の情報

1. 園芸野菜 病害虫防除情報
2. 安全な農作物生産の取組みについて
～農薬散布時の服装～
3. 天敵製剤(ミヤコバンカー)によるナシのハダニ防除試験について

11月の気象について (気象庁 10/28 発表 長期予報 (1 か月) から)

- ① 11月は平年より気温がやや高い予報ですので、作物の生育状況に注意しましょう。
- ② また11月は最低気温が10℃を下回り始める時期ですので施設の暖房・露地の被覆などの管理が遅れないようにしましょう。
- ③ 病害虫の発生しやすい条件なので注意しましょう。

(長期予報 (1 か月) は毎週木曜日に発表されます。週予報とともに確認し、今後の栽培管理の計画を立てましょう)



凡例: ■低い ■平年並 ■高い



全農では農業施設の台風対策・パイプハウスの建て方動画などを公開しています

アピネスアグリインフォ自然災害対策をご参照ください

HP : <https://www.agri.zenoh.or.jp/N_index.aspx>または「アピネス」で検索🔍

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に最新の登録内容をご確認ください。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

気温が下がり、施設栽培では保温のため夜間締め切る時期になりました。本県は11月になると最低気温が10℃を下回り始めますので、管理には注意しましょう。また、降雨が多くなっていく時期ですので、病気の発生には特に注意しましょう。

2. 果菜類(灰色かび病)

＜薬剤防除を行う前に、耕種的防除を徹底しましょう＞

(1) 除湿

灰色かび病は低温（15～20℃）と多湿を好みます。夜間ハウスを閉切る時期では、湿度が高まり灰色かび病が発生しやすくなります。除湿のために、天窓換気・暖房機による早朝加温・空運転等を実施しましょう。また薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉めるまでに薬液が乾くようにしましょう。

(2) 施設圃場の管理

灰色かび病は、咲き終わった花卉・枯れた葉等に寄生してから、健全な部位へと移っていきます。果実に付着した花卉や枯れた葉が残っていると、灰色かび病の発生源になります。同様に灰色かび病の発病した葉や果実も通路に放置せず、必ずハウス外へ持ち出し処分しましょう。



発生源となる咲き終わった花卉



茎に発生すると被害が大きい



通路に残さを放置しない

○大玉トマト 灰色かび病 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色かび病	M7	ベルコートフロアブル	2000～4000倍	収穫前日	3回以内	予防
	9	フルピカフロアブル	2000～3000倍	収穫前日	4回以内	予防
	7	アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日	3回以内	予防
	12	セイビアーフロアブル 20	1000～1500倍	収穫前日	3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤※	1000～1500倍	収穫前日	5回以内	予防・治療

※ゲッターはトップジンMの混合剤なので総使用回数に注意

○キュウリ 灰色かび病 防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色 かび病	M7	ベルコートフロアブル	2000倍	収穫前日	7回以内	予防
	9	フルピカフロアブル	2000~3000倍	収穫前日	4回以内	予防
	7	アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日	3回以内	予防
	12	セイビアーフロアブル 20	1000~1500倍	収穫前日	3回以内	予防
	2+10	スミブレンド水和剤※	1500~2000倍	収穫前日	5回以内	予防・治療

※スミブレンドはスミレックスとの混合剤なので総使用回数に注意

3. トマト(うどんこ病)

- (1) 表生型 (Oidium neolycopersici)、内生型 (Oidiopsis sp.) の2種類があります。内生型は菌が葉の内部に広がるので防除が難しく、被害も長期化します。
- (2) 内生型は適温 18~25℃、感染~発病まで 16~21 日ほどで、発病まで長期間かかります。発生してからの防除では後手にまわってしまうため、予防が重要です。
- (3) 内生型は主に葉裏の気孔から侵入するので葉裏まで薬剤がかかるよう散布しましょう。

○トマト うどんこ病  ・葉かび病  ・すすかび病  防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
う	9+U13	ショウチノスケフロアブル※	2000倍	収穫前日	2回以内	予防・治療
	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤※	2000倍	収穫前日	2回以内	予防・治療
う・葉・ す	M7	ベルコートフロアブル	2000~4000倍	収穫前日	3回以内	予防
う 葉・す	7	アフエットフロアブル	2000~4000倍 2000倍	収穫前日	3回以内	予防
う・葉・ す	7+11	シグナムWDG※	2000倍	収穫前日	2回以内	予防・治療

※ショウチノスケはガッテンとフルピカ、パンチョはトリフミン、シグナムはカンタスとの混合剤のため総使用回数に注意

4. ネギ(黒斑病・べと病)

病害は多湿の条件を好むので、長い降雨の前後には防除が必要です。また、夜間にもや・霧が発生すると同じく多発の原因となります。降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ薬剤を使用しましょう。

(1) 黒斑病

葉身に輪紋状の病斑が発生します。台風・降雨のほか、草勢が低下しても発生しやすいため、肥料切れ等に注意しましょう

(2) べと病

葉身が黄色くぼやけ、灰暗色~茶褐色のカビがみられます。やがて被害部から葉が折れてしまいます。水により蔓延するので降雨、もや・霧の後に発生しやすいです。



○ネギ ベと病^ベ・さび病^さ・黒斑病^黒・葉枯病^葉 防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ベ・葉	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤※	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
ベ	4+M3	リドミルゴールドMZ※	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
黒	2	ロブラール水和剤	1000～ 1500倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
黒・さ	3	オンリーワンフロアブル	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
ベ・さ・ 黒・葉	11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前	4回以内	予防・治療
		メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日	3回以内	予防・治療

※プロポーズはダコニール、リドミルゴールドMZはペンコゼブとの混合剤なので総使用回数に注意

5. キャベツ(べと病・菌核病・黒腐病)

菌核病は外葉(下葉)がしおれ、葉の軸から株元まで軟化し、白いカビが発生します。2月以降になると結球部まで被害が進みます。結球前に防除を行いましょう。

黒腐病は外葉(下葉)から発生し、葉のへりに不整形、あるいは葉脈を中心としたV字形の黄色い病斑ができます。病斑は次第に拡大し褐色に変わって、やがて乾燥して破れやすくなります。強雨強風で葉が傷つくと畑全体に激しく発生しますので、降雨の前後は防除を徹底しましょう。



べと病



菌核病 下葉・株元のカビ

○キャベツ ベと病・菌核病・黒腐病 防除薬剤

対象病害	FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと病	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤※	1000倍	収穫14日前	2回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ※	1000倍	収穫30日前	3回以内	予防・治療
	12	セイビアーフロアブル20	1000倍	収穫3日前	3回以内	予防
菌核病	2	ロブラール水和剤	1000倍	収穫7日前	4回以内	予防・治療
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000～3000倍	収穫3日前	3回以内	予防・治療
	M1	キノンドーフロアブル	800～1000倍	収穫14日前	3回以内	予防
黒腐病	U18	バリダシン液剤5	800倍	収穫7日前	5回以内	予防・治療
	24+M1	カスミンボルドー	1000倍	収穫7日前	4回以内	予防・治療

※プロポーズはダコニール、リドミルゴールドMZはペンコゼブとの混合剤なので総使用回数に注意

安全な農作物生産の取り組みについて

～農薬散布時の服装～

J A全農ちば
営農支援部

1. 農薬事故について

毎年、数十件農薬に関する事故が発生しています。その中でも農薬散布時に防護服やマスクを着用していなかったために発生する事故も散見されます。農林水産省平成29年の調べでは、農薬事故21件中6件(28.5%)が服装装備の不十分に起因した事故になります。農薬のラベルにも薬剤ごとに注意事項が記載がされていますので、内容に従って保護具を着用しましょう。

2. マスクについて 薬剤・用途に応じ選択

農薬を散布すると、散布液の粒子が飛散し、皮膚、鼻、口から体内に入り込む恐れがあります。マスクは何種類かありますので、農薬の剤型などに従い適切なマスクを着用しましょう。

- (1) 農薬用マスク・・・国家検定合格の使い捨て式防塵マスク。農薬の粉剤および液剤を散布する時に使用します。農薬用マスク(使い捨て式防塵マスク)は原則使い捨てです。
- (2) 防護マスク・・・国家検定合格のフィルタ取替え式防塵マスク。急性毒性の高い農薬(粉剤、液剤)を使用するときを使用します。
- (3) 吸収缶付防護マスク(土壌くん蒸剤用)・・・国家検定合格の有機ガス用の吸収缶のついた防護マスクです。クロルピクリン、D-Dなどのガス化(気化)し易い農薬の散布時に使用します。吸収缶には種類がありますので間違いのないようセットしてください。

3. 服装について 肌を露出しない、目・鼻・口を守る

農薬使用時は、防除衣や帽子、マスク、メガネ、手袋、長靴などの保護具を着用しましょう。

- ①散布時だけでなく農薬調合時から保護メガネ・マスク・手袋を着用。
- ②帽子等を着用。
- ③長袖、長ズボンの防除衣を着用。
- ④農薬の剤型に適したマスクを着用する。
- ⑤保護手袋をする。
- ⑥長靴を着用する。

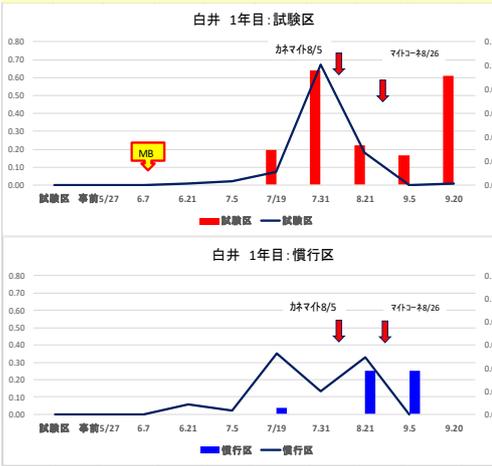


天敵製剤(ミヤコバンカー)によるナシのハダニ防除試験について

J A全農ちば 営農支援部

I P M防除の一環として、天敵を利用したハダニ防除試験を3年間継続し、有効性が確認されたので結果を報告いたします。

白井圃場19年(初年度)



- ① ミヤコバンカー設置:6月4日
- ② 圃場面積:7a 植栽数21本
- ③ 設置数:63個設置
- ④ ダニ剤使用回数
 - 試験区:2回 慣行区:2回
- ⑤ 試験区のハダニ防除をもう少し早める必要があった
- ⑥ 試験区は優しい薬剤仕様とし、慣行区は従来の薬剤散布(非選択薬性殺虫剤散布パターン)
- ⑦ 梅雨明け:7月24日

- ・棒グラフ:
 - ⇒天敵(カブリダニ):右目盛り
- ・折れ線グラフ:
 - ⇒ハダニ類:左目盛り
- *葉1枚当たりの頭数を表す

殺虫剤	試験区	殺虫剤	慣行区
4月4日	ウララDF	4月4日	ウララDF
4月21日	バリアード顆粒水和剤	4月21日	バリアード顆粒水和剤
5月3日	ハチハチフロアブル	5月3日	ハチハチフロアブル
5月13日	コテツフロアブル	5月13日	コテツフロアブル
6月4日	ウララDF	6月4日	モスピラン顆粒水溶液
6月7日	ミヤコバンカー設置		
6月26日	トランスフォームフロアブル	6月26日	オリオン水和剤40
7月9日	スタークル顆粒水溶液	7月9日	テルスターフロアブル
7月30日	サムコルフロアブル10	7月30日	ロディー水和剤
8月26日	アグロスリン水和剤	8月26日	アグロスリン水和剤
8月5日	カネマイトフロアブル	8月5日	カネマイトフロアブル
8月26日	マイトコーネフロアブル	8月26日	マイトコーネフロアブル

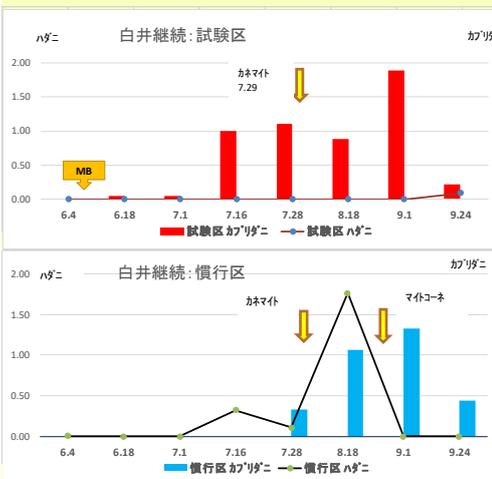
ミヤコバンカーの設置方法

- ・初年度:主幹巻き付け
- ・2年目:亜主枝、側枝吊下げ
- ・3年目:主幹巻き付け

*試験区のハダニ防除結果

- ① 初年度(ダニ剤2回散布)
 - ・ダニ剤散布タイミングが合わず試験区で7/下で密度上昇
 - ② 2年目(1回散布)
 - ・ダニ剤散布を発生直前に行う事で終始抑制
 - ③ 3年目(2回散布)
 - ・ハダニは若干発生するも問題以下のレベル、慣行区のダニ防除に合わせたため2回散布
- *慣行区は3か年共に梅雨明けに密度上昇と一部枯死、落葉が見られた(ダニ剤散布は2回)

白井圃場20年(2年目)



- ① ミヤコバンカー設置:6月4日
- ② 圃場面積:7a 植栽数21本
- ③ 設置数:65個設置
- ④ ダニ剤使用回数
 - 試験区:1回 慣行区:2回
- ⑤ 試験区のハダニは9月後半まで発生は無かった
- ⑥ 梅雨明け:8月1日

殺虫剤	試験区	殺虫剤	慣行区
3月7日	ハーベストオイル	3月7日	ハーベストオイル
3月8日	ウララDF	3月8日	ウララDF
4月15日	バリアード顆粒水和剤	4月15日	バリアード顆粒水和剤
4月29日	モベントフロアブル	4月29日	ハチハチフロアブル
5月8日	コテツフロアブル	5月8日	コテツフロアブル
5月13日	コンフェューザーN	5月13日	
5月18日	モスピラン顆粒水溶液	5月18日	モスピラン顆粒水溶液
5月25日	トランスフォームフロアブル		
6月4日	ミヤコバンカー設置		
6月5日	エスマルクDF	6月5日	ダズバンDF
6月16日	マトリックフロアブル	6月16日	オリオン水和剤40
6月27日	スタークル顆粒水溶液	6月27日	テルスターフロアブル
7月16日	コンフェューザーN		
7月29日	サムコルフロアブル10	7月29日	ロディー水和剤
8月17日	カネマイトフロアブル	8月17日	カネマイトフロアブル
8月17日	ロディー水和剤	8月17日	ロディー水和剤
8月20日		8月20日	マイトコーネフロアブル

白井圃場21年(3年目)



- ① ミヤコバンカー設置:6月24日
- ② 圃場面積:7a 植栽数21本
- ③ 設置数:42個設置(前年比65%)
- ④ ダニ剤使用回数
 - 試験区:2回 慣行区:2回
- ⑤ 試験区のハダニ発生は期間を通じて抑えられた
- ⑥ 梅雨明け:7月16日

散布日	殺虫剤	散布日	殺虫剤
3月10日	ハーベストオイル	3月10日	ハーベストオイル
3月30日	ウララDF	3月30日	ウララDF
4月16日	バリアード顆粒水和剤	4月16日	バリアード顆粒水和剤
4月27日	モベントフロアブル	4月27日	モベントフロアブル
5月7日	コテツフロアブル	5月7日	コテツフロアブル
5月15日	サムコルフロアブル10	5月15日	サムコルフロアブル10
5月24日	モスピラン顆粒水溶液	5月24日	モスピラン顆粒水溶液
6月3日	トランスフォームフロアブル	6月3日	トランスフォームフロアブル
6月21日	エスマルクDF	6月21日	オリオン水和剤40
6月24日	ミヤコバンカー設置		
7月6日	スタークル顆粒水溶液	7月6日	テルスターフロアブル
7月16日	ナシヒメコン		
7月17日	エニックスフロアブル	7月17日	ゼアナWDG
7月23日	サムコルフロアブル10	7月23日	ロディー水和剤
7月23日	カネマイトフロアブル	7月23日	カネマイトフロアブル
8月20日	アグロスリン水和剤	8月20日	アグロスリン水和剤
8月20日	マイトコーネフロアブル	8月20日	マイトコーネフロアブル

★ 試験から分かった事

- ① 天敵継続でハダニの密度減少
 - ② ダニ剤の回数削減が可能
 - ③ ダニ剤散布は梅雨明け基準で散布回数を削減可能
 - ④ 6月以降に非選択制殺虫剤の使用で、ハダニ抑制できない
 - ⑤ ミヤコバンカーの設置方法は更に検討する
- *園主感想
2年目の結果があったので、3年目は安心できた